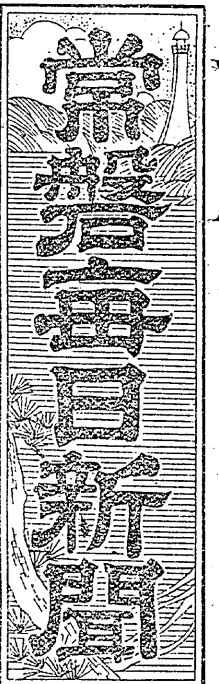


刊夕日七廿月一



定額一冊金五錢... 電話六三〇番

人生險難多し

眞 繼 雲 山

人生の行路には峻しい山がある。危い谷がある。狂風怒濤、毒龍陀鬼など、観音經中の七難垂示を待つまでもなく、一步戶外に出れば、險難は隨所に横はつてゐる。さらばといつて屋

内に蟄居し、乃至は山の奥海の底に隠れてみたとも老病死の苦患は間斷なく、また容赦なく迫つて來つゝある。

さうしてこれ等、内外の險難は必ずしも無信仰者迷へる者へのみ迫るといふ譯ではない。悟れる人信心の人といへども、この險難を免れることは出来ない。

如何に信心しても、それ等の災厄、險難から免れることが出来ないものとすれば、信仰といふも詮なき仕草なりと失望する人もあらう。しかし佛を信心する功德によつて災厄から免れ、幸福のみが訪れると考へることは、餘りにも自我的巧利の思想である。

否な、眞實の信仰に徹して世を救ひ、人を助けたしとして佛道に勇猛精進すればする程、ヨリ多くの險難は迫り來るであらう。それは日蓮の四大法難、法然親鸞

と反對に、信の智眼を開いて、慈眼解脱の境にあるものは、災厄掃比して到るといへども敢へて苦しむべき所以を見ない。むしろますます勇躍する。險難迫るといへども破顔一笑して身を轉じ得るが故に、結局この人生に苦患は無き事となる。假りに一步を譲り、肉身を存し、家を持つ人間として、勇躍し破顔一笑するは國難事であるとすると、別に諦觀の道がある。ヨシ降りしる涙は止め敢へずとも、別に涙と共に讃仰すべき光明の世界がある。

その心のドン底に、ゆるぎなき巖のやうなモウ大丈夫といふ永生の世界さへ有り得るならば、ヨシ風吹かば吹け、花散らば散れ、涙の露に人生の光明は輝くであらう。

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雑誌が

自由に讀める

川崎巡回文庫

電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

お客様本位の...



正確な時計
好適の眼鏡

平一常盤屋時計店

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新瀉醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

平町田町 電話五二三番

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

冬服貯箱

紺色柄物... 三ッ揃... 拾貳圓

最新柄... 三ッ揃... 拾三圓五十錢

最上紺黒... 三ッ揃... 拾六圓五十錢

高級品... 三ッ揃... 拾九圓

平町正札堂洋服店 電四三六


お茶の値下斷行

本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ

煎茶四十目袋入 十錢より 五十錢まで

ほうじ茶四十目袋入 第二號十錢

配 速



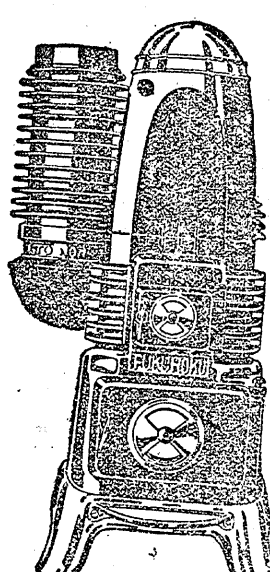
大勝園

フクロクストーブ

石炭經濟の理想的ストーブ

それは石炭商の... 立場より多年研究試驗の結果

に優るものなし



ストローブ 御買上の際には是非御相談下さい

カタログ持參御説明申し上げます

電話二三七番

阿部石炭商店

農業保險の基本調査

石城卅六ヶ町村指定

農林省から係官が來平

風水干害其他を主眼

農林省では農家の収入を保証せんと目下草案中の農業保險法の基本調査を行ふに當り石城郡内三十六ヶ町村を指定し同町村に於いて右に關する

調査を行ふことゝな

り來る廿八日農林省井上屬外三名の係官が來縣の旨廿五日日本縣に通達があつたので縣ではその趣きを廿六日

關係町村に

通知

も加はり廿八日から三十一日まで平町外十五ヶ町村の調査を行ふ事になつたが調査の内容は水稻の風水旱害桑園の風水旱害雹害等を主眼とするもので調査方法は町村及町村農會、技術員農事實行組合並に多年農事に經驗を有するもの區

長等を町村役場に集合せしめ去る大正七年から昭和六年まで十四ヶ年間に亘る右損害の調査を基準として行ふもので更にその損害による小作米の引下状態農家の日記その他の参考にするもので頗る廣汎に亘る大調査である

選挙戦の幸先を祈り

大安日に豫選會開催

昨日の政友幹部會で決定

石城政友會にては昨日午後一時より大村屋旅館に於て幹部會を開き

對選舉策

を協議する處あつたが目下話頭に登つて居る候補者としては石城郡のみにても木村、金成、鈴木、佐藤の四氏あり相双兩郡とも適當の連絡を保つてその擁立に慎重なる態度を以つて臨まねばならぬ處より安島重三郎氏外數氏が本日浪江町に開かれる相双兩郡の

協議會に

出席して交渉を開始すると共に候補者の物色其他を大体最高幹部に一任する事となり來る卅一日が大安の日曜日に相當する處から幸先を祝つて同日午後一時より聚樂館に同志の豫選會を開く事に決定午後三時半散會した

寄附の採納

町會で決定

平町の寄附金品採納は廿五日の町會で左記何れも町財

土砂さらひと

路面改修計劃

小名濱漁港修築内務省委託工事は既報の如く一先づ完成を見たが更に漁業組合荷揚場前の海底は潮流の關係

で年々土砂流入船舶の出入に妨からず支障を來し同組合並に地元民は同港發展上これが浚渫をなし後顧の憂いを一掃すべく要望されてゐたが町財政上仲々實現の運びに至らず七年度豫算に計上すべく考へられてゐるが今回同漁業組合では自費

木炭組合創立

以來の記録

検査俵の激増

一時的でない認め
七年度には一大飛躍

濱三郡木炭同業組合の六年度検査見込高は百三十五萬俵で組合としては果して六年度に見込高通りの生産があるや否やをひそかに懸念してゐたものだが意外にも生産高は毎日激増し遂に四月の年度替りまでには二萬俵を突破せんとし組合創立以來の記録を示すに至つた

馬匹共同販賣

組合が獎勵

磐城野放し馬の共同販賣については石城産馬組合が極力督勵し産馬の改良その他の方面に對し幾分改善が加へられ聲價を納めつゝあり來る三月の駒せりには相當の好結果をもたらすべく對策を講じ茨城千葉兩縣産馬組合に對し共同斡旋をなすことになつた

村井知事の歓迎會開催

歓迎會開催

既報、初巡視の爲め來平する村井本縣知事歓迎會は伏見町長其他が發起となり卅日午後五時より住吉屋本店に開く事になつたが會費二圓を以つて一般有志の出席を募る筈

勿來組合が

近く米共販

勿來町信用利用組合では本年度より米の共同販賣の計

書を樹て過般第一回の販賣を行つたが近く第二回の販賣をなすことになつた、現在農業倉庫業をなしてゐる關係上在庫米も多く時節柄高價に賣却されるので地元民から大いに期待されてゐる

馬匹去勢日割

石城郡下に於ける縣の馬匹去勢施行日割左記の如く決定した

- △十二日草野、飯野、内郷、大野、川前、大浦、赤井△十三日玉川、好間、高久、澤渡、上小川、下小川組合△十四日植田、磐崎、渡邊△十五日泉、勿來、山田、湯本

平町人事

- △堂ノ前一四、白土正夫氏
長女萬里子
△一丁目二九、安田貞二氏
二女満子
△二丁目一六、當時臺灣臺北市本町一丁目三七鈴木カヨ(五一)

鳥の油 大勉強

四合壘詰 一本 三十五錢
一升入 同 九十錢

鈴木鳥肉店

平町町橋小跡
電六五四番

植田水力電氣株式會社

昭和六年拾貳月卅一日
資本金 五,000,000.00
諸積立金 一,000,000.00
假受金 一,一八七.九七
社債及借入金 一,四四五,九七.〇〇
支拂手形及未拂金 四六,四〇.〇〇
未拂配當金 二,三五.二五
當期利益金 七,〇六.二二
合計 六,六五五,九二.〇五
右之通り候也

第貳拾四期營業報告

貸借對照表
資產之部 三,七五〇,〇〇〇.〇〇
未拂込資本金 三,七五〇,〇〇〇.〇〇
線路屋内工化物 四九,八八.〇〇
機械器具貯藏品及土地建物 二二,五八.〇〇
什器 八,八三.三三
有價證券 六,八三.三三
假拂金 六五,九二.〇〇
受取手形及未收入金 三〇,三〇.八八
發電品勘定 一,一八一.三〇
變電品勘定 一四,四三.二五
化學工業部勘定 三〇,三〇.三三
預ケ金及現金 二三三,三四.九二
合計 六,六五五,九二.〇五
負債之部
資本金 五,〇〇〇,〇〇〇.〇〇
諸積立金 一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇
假受金 一,一八七.九七
社債及借入金 一,四四五,九七.〇〇
支拂手形及未拂金 四六,四〇.〇〇
未拂配當金 二,三五.二五
當期利益金 七,〇六.二二
合計 六,六五五,九二.〇五
右之通り候也

船中で漁夫達が

ガス中毒の椿事

二名は絶命し一名重傷

今朝小名濱で

石城郡小名濱築港内に数日前より停泊中であつた宮城縣名取郡閉上町字閉上高橋仲治(三)所有の發動漁船八幡丸三十噸の乗組漁夫閉上町生れ渡邊重郎(三)上川春治(三)相馬郡金房村生れ大内秋安(三)の三名は昨夜七時頃より船長山本達吉外六名が上陸外泊した後留守居役として残り暖をとるべく甲板入口を閉め切つて船員室に炭火を起して居るうち炭酸ガスが室内に充滿し前記三名の者は其儘窒息昏倒して居るのを外泊せる乗組員が今朝八時頃乗船して發見し大騒ぎとなり入口を破壊して三名を救出し應急手当を施したが渡邊上川の兩名は既に絶命し如何とも施し様なく大内一人生命を取止めたが頗る重態で危篤に類して居ると

磐崎の

軍人家庭調査

石城郡磐崎村では軍人勅諭五十周年記念に際し一家より

三人以上の軍人を出したる家庭を村役場にて調査した結果、六人の軍人を出した家が二戸、四名を出した家九戸三名を出した家二戸で合計三十四戸の戸主を近く表彰する事になつたと

水汲みの女房

胴體眞ツ二つ

何氣なく線路を横切りかけた際

石城郡内郷村大字宮字金坂七六居住日雇業安島瀧藏の妻ヨシ(三)は昨廿六日午後四時半頃自宅前で夕食の仕度中水を汲まんと磐城炭礦専用線路を何氣なく横切つた際線路へ向つて進行し來つた貨物列車に胴體及び右手首を轢断され同午後八時頃絶命した

密漁中を發見され

逃走した事發覺し

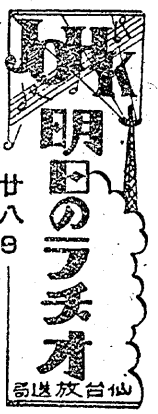
小名濱警部補派出所で

船長以下乗組員取調中

石城郡小名濱町加藤要藏所 有明丸は船長渡邊巨外九名乗組廿五日午前五時頃相馬郡小濱海岸沖合十三海里の地点で密漁中であつたのを縣監視船に發見され逃走した事發覺され目下小名濱警部補派出所で取調中である

剣道階級試験

大日本武徳會福島支部の十一回



明日のラジオ

今夜も明日も北西の風晴れたり曇つたり

今晚の部

後六、〇〇(子供の時間) お話「船の出るまで」 志田一郎
後七、三〇 記念講演「故元師久邇宮邦彦王殿下の御高徳を偲び奉りて」 伯爵 清浦奎吾
後八、〇〇 連続講演「笹野権三郎」第三席 大島

伯鶴

後八、三〇 箏曲一、新曲「千代見草」二、新曲「勿来の關」佐々木佐喜豊其他
後九、〇〇 ビアノと管絃樂(東京府在原町新交響樂團練習所より中継)
一、「圓舞曲藝術家の生活」
二、「圓舞曲藝術家の生活」
三、「圓舞曲藝術家の生活」
後九、四〇 時報 全國

明日の部

後〇、〇五 琵琶「羅生門」山口錦堂
後六、〇〇(子供の時間)「童話とお話」宮城婦人會 付屬幼稚園
後七、三〇 時事講座 小山真知
後八、〇〇 連続講演 大島伯鶴
後八、三〇 清元とはうた 立花家金八連
後九、〇〇 映畫物語「大飛行船」仙石雷蹊

落とし主は

近在の人に多い

元日からの拾得物

平署で取扱つた本年元日より本日迄の拾得物は現金が六十二圓七十七錢、物品を加へると三百点余になり正月らしく平常より二三割増しとの事である

湯の岳山林に

防火標柱冊本

磐崎の山林防火督勵

石城郡磐崎村大字藤原部落では過般平署より山林火災防止の督勵に接したので去る廿四日部落民協議の上、同部落湯の岳地内山林に防火標柱三十本を建設する事に決定、本日より部落民總出動を以つて建設工事を初めたと

ヒロイモノ

△鍛冶町國府田直良君は一

平映畫界

□世界館、東亞キネマ時代劇大御堂健治郎、木下双葉主演「剣法吉岡染」パ
ラマウント映畫「ホルド
ロイド主演「足が第一」

求人部

△女中 廿才以下、尋卒、給料面談(久保町某)
△雑夫 五十才以下、日給六十錢位(磐崎村某請負)
△雑夫 廿五以下、住込月給五圓位(豊間村某)
△商店雑役 廿才以下、尋卒、給料面談(相馬郡小高町某)
△食堂女中 十六七才、給料面談(五丁目某料理店)
△求職部
△土工 廿二才、高卒、給料面談(四軒町某)
△商店雑役 尋四修、廿八才、給料面談(胡摩澤某)
△電工 廿六才、高卒、給料面談(五丁目某)
△左官 四十六才、高卒、給料面談(久保町某)

マツモトヤ

均一大賣出
店頭十錢均一の山
是非御来店を……
電二一四番

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南町
電一七〇



【載轉禁】

渡邊默禪作
布施平八郎畫

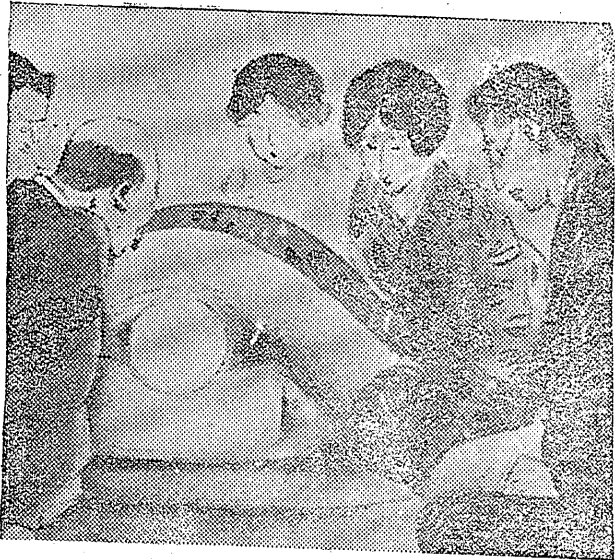
お通 夜 (3)

『もう駄目だ……お、お別れだ……で、壽屋』
舌が縋つてゐるのか、抑揚のない細い聲だつたので何をいふのか分らなかつた。源之助も治右工門もひたと傍に摺寄つて耳をたてた。千代子は其蔭で涙の含んだ顔を突出させた。
『え、え、何ですか』
治右工門は何度も問ひ返した。
『こ、此身代を、な、投げ出して、しや、借財を綺麗に……』
『む、全財産を投げ出して負債を一厘もあまざす償還しろと被仰るんですね。む分りました』
『こ、壽……頼む』
『私に凡てをお頼みになりますんで、ようがす。引受けました。御安心なさいまし。』

治右工門はぶる／＼と渾身をふるはせてから呻くやうに悲愴な音を洩らしてへの字に口を閉ざした。
『げ、源之助、千代……一文なしになつて……は、裸で働け。こ、この身代をた、立直して、せ、先祖へ……』
治右工門は堪へ切れなく

なつて、ぼろ／＼と落涙しながら
『二人とも聞いたか。お、お前たちは一文なしの素裸に身落して、獨立獨行、一生懸命に働いて、十文字家を再興して、そうして先祖へお詫をしなければならな

硬くなつて聞いてゐた郁子は、ぎく／＼と肩に波打たせて向直つて
『え、何でいふんですか』
平兵衛は最う一度繰返した。が、誰にもそれが通じなかつた。忽ち呼吸が促進して来た。
喉のあたりでころ／＼と痰の音がした。看護婦は急いで酸素の吸入を行つた。
次第に呼吸がやんで来る



い、と被仰るんだ。分つたか？』
『分りました。き、必と、そ、然う致します』
源之助は男泣きに顔を伏せて了つた。千代子は見得もなく膝を崩して歎息上げた。
『い、郁は、生家へ……』

つたまへ人生への別れを告げた。
翌る日は不愉快な混雑が十文字家の内外に大きな輪を描かせた。
治右工門は葬儀委員長になつて必死と骨を折つた。それと打突つて差押へ物件の競賣は、川島がどう尽力

したのか、更に一週間だけ延期された。
その夜九時頃、灯もない洋館の二階の一室……平兵衛が在生中事務を執つて社長室……へ家のごたくさを避てこつそり入つて来た源之助と千代子とが、眞暗な部屋のなかに差向ひになつて忍び聲にひそ／＼話を始めた。
『ねえ、見さん。とう／＼二人ツ切になつちまひましたわねえ』千代は地上の寂しさを其身一つに聚めたやうな思ひをして、極めて陰氣な、併し獨身の力を打込んだやうな聲をふるはせた時に、險を押し切つて頬に流れる雫の熱い觸覺に自分の心もその涙と共に消えてゆくやうな氣がした。
『む、二人切になつたよ』源之助は關のなから悲しげな聲で答へた。
『お母さんに別れたのは僕が十五の齡だつたから、ちやうど今から八年前だ。』

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病
林 門專 腸胃病 胃性
院醫科 腸胃病 胃性
〇七一話電 町南平

今年是不景氣
第一時計より
常に商品の確実と流行の粹は時代のスタイルを切つて顧客本位を生命として各位様の御来店をお待ちして居ります
御注文及び修理は 電話一九五番へ
鐵道省御用
金光堂
平五(釜屋向) 電話一九五番

花柳科専門
木村科醫院
入院自炊の便あり
平町五丁目橋際 電話三〇九番

科人婦科
院醫坂井
町田町平 電話五五九番

セメント 壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社 代理店 **西村屋藥舖**
平町二丁目電話三〇

お醬油は ヤマフル
醬油味噌 たひら 正宗 鰹節 食料品
山崎合名會社
鹽屋
福島縣平町(電話營業部)醸造工場
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

三井の 商品切手
八番 三二番 電話 平三

誠に便利な **商品券**
金額の多少に不拘調 製造致します
平町南町 **鳥商鳥菊**
いさ下用利御率何 番六八二話電